

2012年9月1日

E M C 通信

事業主任主題：今こそワイズへ！！

担当事業：クラブ拡張（E）＋会員増強・維持・啓発（MC）＋広報（PR）

会員増強事業主任 鈴木 茂（横浜つづき）

1. 東日本区再生元年

今期は東日本区の再生元年であります。あつてはならない不祥事によって、私たちが深く傷つき、大きなダメージを受けたことは否定できません。しかし、深刻な問題の処理を巡って様々な場で展開された議論と対策は、ワイズの健全性と再生能力の高さを示す証左と考えられます。今こそ私たちは、ワイズメンとしての誇りと確信をもって、例会や諸活動に参加し、積極的に知人・友人をワイズに勧誘したいと思えます。

9月はEMC-EMの強調月間です。9～10月は多くの部で部会が開催され、大いに盛り上がる時期でもあります。この時期に是非、新しい方をワイズの例会や行事にお誘い下さい。

2. 事業目標1：新クラブの設立（3クラブ）

駒田勝彦理事は、今期の会員増強事業目標の中でも特にクラブの拡張＝新クラブの設立を重視しておられます。各部におかれましてはテリトリー内で、新クラブの設立が期待できる地域はないか、特にYMCAの拠点のあるところ、学校の同窓や趣味のサークル等で知り合いの多いところなどでの新クラブ設立の可能性を検討して下さい。

子クラブを誕生させることは大変なエネルギーを要する大事業であります。それだけに、新設クラブの親クラブとなることはワイズの世界にあっては最高の名誉であります。しかし、特定クラブや特定会員に過大な負担をおかけすることは望ましいことではありません。会員増強事業委員会としましては、理事や区役員会の支援取り付けに向けて最大限の努力を傾けたいと思えます。また1クラブ単独ではなく、2～3のクラブがスポンサークラブとなり、協力して新クラブ設立を目指すことも是非ご検討をお願いしたいと思います。

3. 事業目標2：会員純増1クラブ2名以上・区全体100名以上

会員増強は各クラブとも最大の関心事であり、インビテーション・キャンペーン等を通して新入会員獲得に努力しておられることと思えます。事業主任として今期は、1クラブ2名以上、区全体で100名以上の会員純増という事業目標を掲げました。

先般開催しました会員増強事業委員会（7/17・火）では、新会員の勧誘や楽しいクラブ作りに向けたさまざまなアイデアが話し合われました。そうした話合いの中で、大きくクローズアップされたのは、ワイズメンズクラブ（ワイズ）におけるキリスト教色（宗教色）の問題でありました。キリスト教色が一部の新入会員候補者にとって、入会をためらう要因になっているという指摘です。

ワイズは宗教団体ではありませんから、例会・評議会・部会等の活動において各クラブ、各部の判断によってキリスト教色を極力排除することは、正しい選択であると考えられます。

ただし、ワイズがキリスト教精神を標榜する YMCA に奉仕する団体であり、かつワイズ自身が国際憲法と東日本区定款において自らを「イエス・キリストの愛と奉仕の実践を目指す」と規定している以上、宗教色を完全に払拭することは難しいと考えられます。人間の愛と善に対して如何に理想を求める人であっても、人間の信仰や宗教性を完全に否定する人にとっては、ワイズの活動はなじまないと言わざるを得ません。ワイズへの入会勧誘にあたっては、そもそもボランティア活動に対して熱意があるかということとともに、人間の信仰や宗教心に対して理解があり、寛容であるかどうかを確認することが大切であると思われまます。

4. 事業目標 3 : クラブ退会者ゼロ (真にやむを得ない事情を除く)

ワイズが人間の集まりである以上、何らかの事情で退会する者が現れ、その理由の大半が人間関係に基づくものであることは容易に推察できます。そこで、退会を防止するために楽しいクラブ作りを目指そうとする努力が生れます。ただし、方向を一步誤ると極端な仲良しクラブになって、結果的に新入会員を排除することにもなりかねません。他方、ワイズの求心力を高めるためには、柱となる奉仕活動が必要だということも真実だと思えます。しかし、奉仕活動の負担があまりにも大きくなると、息切れして顎を出す会員も出てきます。また、奉仕活動の方向性を巡る意見対立が抜き差しならぬ状況に追い込まれることもあり得ます。要は何事もバランスが必要だということになります。各クラブにはそれぞれ個性があり、特色がありますから、わがクラブはこの路線で行こうという、合意形成が非常に大切になります。その意味で、ノンドロップ作戦に焦点を絞ったクラブ・シンキングデーを設けていただきたいと思えます。それは、各自のクラブのあり方自身を問う場になる筈であります。

5. 事業目標 4 : 広報活動＝クラブごとの「入会のお勧めパンフレット」の作成

会員増強活動は、各クラブの置かれた状況や性格によって、有効な方策・手段が異なります。そこで、各クラブの特色を活かした PR 方法の活用、特に独自性のある「入会のお勧めパンフレット」を作成することが望まれます。東日本区のホームページに掲載されているワード形式の「ワイズメンズクラブ入会のお勧め」ファイルをダウンロードし、それをベースに各クラブが独自に説明文や写真を入れ替えて、個性あるパンフレットを作成することをお勧めします。もっとも現在の「入会のお勧め」は大変良くできており、クラブ独自のパンフレットと言っても、手直しできるのは活動内容を紹介する写真の入替え程度かも知れません。何れにせよ、少なくとも最終ページの余白のところには、自クラブの名前、連絡場所、電話番号等を記載してご活用下さい。

今期の会員増強事業委員会の構成員は次の通りです。どうぞよろしくお願い致します。

【2012～2013 年度東日本区会員増強事業委員会員】

NO	氏 名	所属部 (区・クラブ・部役職等)	所属クラブ
1	鈴木 茂(委員長)	湘南・沖縄 (会員増強事業主任)	横浜つづき
2	山田敏明	北海道 (会員増強事業主査)	十勝
3	岡田孝司	北東 (会員増強事業主査)	宇都宮東
4	林 秀雄	関東東部 (会員増強事業主査)	所沢
5	目黒勝彦	東新 (部長兼会員増強事業主査)	東京銀座
6	鶴田一郎	あずさ (会員増強事業主査)	甲府
7	横田孝久	湘南・沖縄 (会員増強事業主査)	横浜つづき
8	大村貴之	富士・直前会員増強事業委員会	沼津
9	相磯優子	富士 (2013～2014 年度会員増強事業主任)	沼津

以上